

論文執筆における引用・参考文献の記載方法

1. 引用・参考文献の記載順序

著者の姓の英文標記に基づいてアルファベット順とする。したがって、英文（欧文）がある場合、和文英文（欧文）の混在型となる。

2. 引用・参考文献の記載項目と形式

(1) 英文（欧文）文献の場合（APAスタイルに従う）

1) 単行本（著書）

著者名 出版年（西暦）. 書名（イタリック）. 出版場所：出版社.

【例 1】 Lewis, C. (2002). *Lesson Study: A handbook of teacher-led instructional change*. Philadelphia: Research for Better Schools.

2) 単行本（分担執筆）

著者名 出版年（西暦）. 章等の標題. 編集者名, 書名 (pp. 開催開始ページ-掲載終了ページ). 出版場所：出版社.

【例 2】 Niss, M. (2008). Perspectives on the balance between applications and modelling and ‘pure’ mathematics in the teaching and learning of mathematics. In M. Menghini, F. Furinghetti, L. Giacardi, & F. Arzarello (Eds.), *The first century of the International Commission on Mathematical Instruction* (pp.69-84). Rome: Enciclopedia Italiana.

* 編集者名と書名の間はカンマで区切り, その他はピリオドで区切る.

3) 学会誌・学術雑誌等

著者名 出版年（西暦）. 論文名. 学会誌名（イタリックで）, 巻・号, 掲載開始ページ-掲載終了ページ (pp.はつけない).

【例 3】 Pepper, D. (2011). Assessing key competences across the Curriculum - and Europe. *European Journal of Education*, 46(3), 335 - 353.

* 学会誌名と巻・号の間, 巻・号と掲載開始ページの間はカンマで区切り, その他はピリオドで区切る.

(2) 日本語文献の場合

1) 単行本（著書）.

著者名 出版年（西暦）. 書名. 出版社.

【例 4】 島田茂編(1977). 算数・数学科のオープンエンドアプローチ-授業改善への新しい提案- . みずうみ書房.

2) 単行本（分担執筆）

著者名 出版年（西暦）. 章等の標題. 編集者名, 書名 (pp. 掲載開始ページ-掲載終了

ページ). 出版社.

【例 5】杉山吉茂 (2010). 数学教育本質論. 日本数学教育学会編, 数学教育学ハンドブック (pp.18-29). 東洋館出版社.

*編集者名と書名の間はカンマで区切り, その他はピリオドで区切る.

3) 学会誌・学術雑誌等

著者名 出版年(西暦). 論文名. 学会誌名, 巻(号), 掲載開始ページー掲載終了ページ (pp.は
つけない).

【例 6】日本数学教育学会教育課程委員会(2016). 学習指導要領算数・数学科改訂に向けた教育課程論の展開. 日本数学教育学会誌, 98(1), 11-44.

*学会誌名と巻・号の間, 巻・号と掲載開始ページの間はカンマで区切り, その他はピリオドで区切る.

(3) Web サイトからの引用

サイトの URL 及び最終確認日を記載する.

【例 7】国立教育政策研究所 (2016) .平成 28 年度全国学力・学習状況調査報告書【中学校
数 学】 <http://www.nier.go.jp/16chousakekkahoukoku/report/16middle/16math/>
(2017.6.18 最終確認)